

社会福祉法人カリタスの園小百合の寮 改修工事
日本建築防災協会理事長賞・
耐震改修優秀建築賞を受賞！

一般財団法人日本建築防災協会主催の平成25年度耐震改修優秀建築・貢献者表彰の審査結果が発表され、有限会社共同設計五月社一級建築士事務所が主となって耐震改修を行ってきた、社会福祉法人カリタスの園小百合の寮が日本建築防災協会理事長賞・耐震改修優秀建築賞を受賞しました。（2面へ続く）

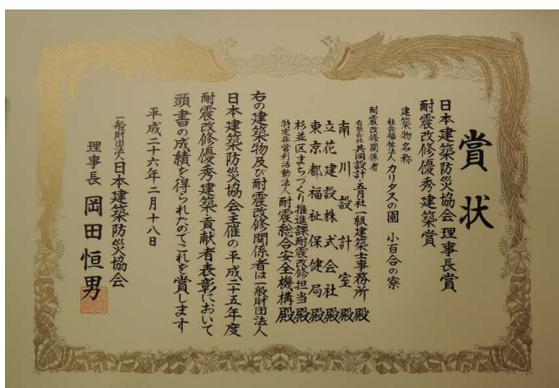


目次：

日本建築防災協会理事長賞・耐震改修優秀建築賞の報告	1 ~ 2
活動報告 「JASO情報管理規定」	3
耐震改修事例報告 「西荻コーポ」	4 ~ 5
活動報告 「JASO耐震アドバイザー資格規定」と「資格証」	6
巨匠探訪	7
お知らせ&スケジュール	8



表彰を受けるカリタスの園 小百合の寮理事長の西恵子氏と共同設計・五月社一級建築士事務所代表の三木哲氏



授与された耐震改修優秀建築賞の賞状（左）と盾

JASOトピックス

- 6/6 JASO定期総会
10周年記念式典
- 6/17 簡易診断 審査会
- 6/18 建築再生展
- 7/1 簡易診断 審査会

日本建築防災協会理事長賞・耐震改修優秀建築賞受賞について

南川設計室 田中聡

今回で第3回となる一般財団法人日本建築防災協会主催の平成25年度耐震改修優秀建築・貢献者表彰の表彰式が、2月18日に東海大学校友会館阿蘇の間（霞ヶ関35階）にて行われました。

耐震改修優秀建築表彰では、「国土交通大臣賞・耐震改修優秀建築賞」に「東京駅丸の内駅舎」が、「日本建築防災協会理事長賞・耐震改修優秀建築賞」に「社会福祉法人カリタスの園小百合の寮」と「千葉県農業会館本館棟」が、「耐震改修優秀建築賞」に「愛知県庁本庁舎」、「大和文華館」、「早稲田大学2号館」および「製粉ミュージアム本館」がそれぞれ受賞しました。耐震改修貢献者では「国土交通大臣賞・耐震改修貢献者賞」に柴田明德氏、「日本建築防災協会理事長賞・耐震改修貢献者賞」に中田慎介氏がそれぞれ受賞しました。

表彰式の後、それぞれの受賞者から説明が行われ、その後の情報交換も盛況に行われました。

戸建て住宅を除く建物が耐震改修優秀建築表彰の対象になります。JASOでは耐震診断実績が多くあり、これから会員の耐震改修実績も増えて来ると思うので、多くの建物が受賞出来るように、JASOを盛り上げていければと思います。



（左上）耐震改修優秀建築賞を受賞した「社会福祉法人カリタスの園小百合の寮」改修後の外観。JASOアドバイザーから、計画を共同設計・五月社一級経建築士事務所、構造を南川設計室が担当した。改修の詳細は「ゆらゆら」第22号page4,5を参照。



（中段右）同じく耐震改修優秀建築賞受賞「千葉県農業会館本館棟」



（右下・左下）国土交通大臣賞・耐震改修優秀建築賞を受賞「東京駅丸の内駅舎」改修後外観とドーム部写真はいずれも一般財団法人日本建築防災協会webサイト表彰結果より

活動報告

「JASO情報管理規定」 情報管理規定検討WG 安達和男

2014年4月1日「JASO情報管理規定」ができました。

1. 経緯と目的

個人情報保護の厳格化が進んでいます。2013年度から世田谷区とJASOの契約には、区の情報管理規定が付置されました。2014年度の武蔵野市との契約も同様です。JASOが行うAD派遣や耐震診断で接する情報は、貴重な個人情報です。もし情報漏えいがあれば、JASOへの信頼を大きく脅かすことになります。そのため、JASOの情報管理規定を定めました。JASO会員とすべての関係者の遵守を求めます。

2. 規定の骨子

第1条は、その目的です。第2条は、管理すべき情報が何かを定義しています。

第3条の1は、情報ごとにアクセスできる人格を規定しています。2では目的外利用を禁じています。3ではJASO会員外の業務協力者も本規定の遵守が必要で、かつその責任は協力を求めた会員にあると規定しています。5は、退会後の遵守義務です。

第4条は、重要な情報の具体的な管理方法を規定しています。

第5条は、情報管理責任者の規定です。第6条は監査の規定です。

第7条は、損害が生じた場合の当事者の賠償責任や罰則を規定しています。

3. どんな時に情報漏えいがあるか

(ア) 電車や車の中に、図面、書類、パソコン、USBを入れたカバンを置き忘れる。

(イ) パソコンのセキュリティが弱く、データが流出する。

(ウ) メールやFAXを間違えて送る。

(エ) 重いデータを送る無料サービスからデータが流出する。

(オ) 業務協力者から、あるいはその協力者（JASOでは禁じている）から流出する。

4. 今後の運用

(ア) 本規定を4月1日から施行しながら、AD会議等で議論し、実際の運用ルールを作っていきます。例えば、データ送付は「どこキャビ」を用いる。どのデータにはパスワードロックをかける。データや書類の廃棄方法などです。

(イ) 情報管理責任者の任命や、JASO会員の個人情報保護の強化を行います。

一方、こうした管理規定は厳し過ぎると、現実には守られなくなります。実施可能な規定であることが大切です。「何が重要な情報で、どう管理するか」を当事者が自己責任で判断し実施する必要があります。「絶対に自分からは情報漏えいを起こさない」という強い意識を持ってください。協力をお願いします。



(左) 書類の廃棄はシュレッダーで。

(右) 重要な書類は鍵のかかるキャビネットに。

- Never give up ! 必ず出来るマンション耐震改修 -
西荻コーポ耐震改修工事

報告 JASO西荻チーム 山田周平・近藤一郎・今井章晴

西荻コーポは、2006年に始まって間もない杉並区の耐震化支援事業を利用し、ステップを踏み、8年かけて耐震改修を実施したマンションである。

精密診断の結果Is値は、X方向0.27～0.42、Y方向0.41～0.89となった。管理組合は、Is 0.6を目指すトブレースだけのマンションになるが、それは耐え難い。デザイン的にも資産価値を保ちたい。また地盤特性を考慮した東京都の建物倒壊危険度や、過去の地震におけるIs値と建物被害などの資料を参考に、建物が大破・崩壊せず、巨大地震後修復できるレベルの補強を目指したいとの要望をまとめ、最終的にIs 0.4を目指すこととした。

基本設計において、管理組合が極力避けたいと要望していた南側の補強は不要となったが、北側縦3構面必要で階段室を一つ撤去することとなり、確認申請が求められた。さらに概算工事費が管理組合予算を大幅に上まわり、管理組合から施工会社の特殊工法を含めたコスト削減方法を検討するよう要請された。提案依頼書に応じて青木あすなる建設から制震ブレースの補強案が提出されたが、それは北側縦2構面で階段室の撤去は無く、確認申請は不要となり、工事費は在来工法を少し下回るものだった。当初、耐震診断まで進めば、容易に実施設計に入れると考えていたが、基本設計に3年かかった。

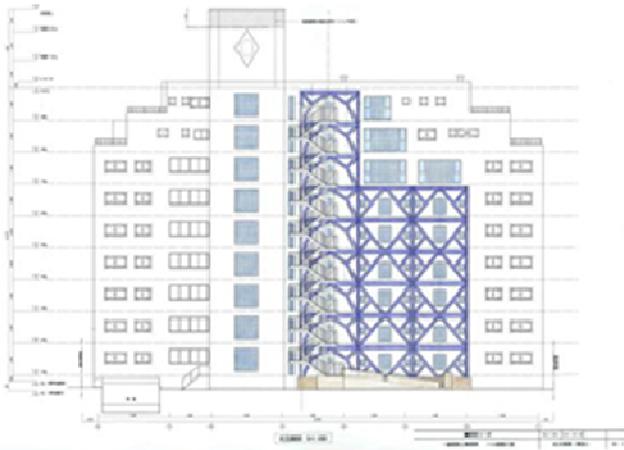


図1 在来工法による計画案



図2 制震ブレースによる計画案



写真1 北側制震ブレース



写真2 南側アプローチ

実施設計の結果Is値はX方向0.27～0.42から、換算Is値0.43～0.92となり、評定を取得した。管理組合は長期修繕計画に見込んでいた、耐震上不安定な玄関の大きな庇と、高齢者を悩ませていた玄関への急峻なスロープの改修工事を一緒に実施すべく、給排水設備改修の予算を本工事に回し、区から1,000万円の助成を受け、住宅金融支援機構の融資や民間リースを利用し、工事費を工面した。

STEP6 耐震改修工事が始まると、工事を想定し設計に織り込んだつもりが、現場はその通り行かない。工事中もコストと工期の制約の中で、出来る方法を考える作業が続いた。搬入路の造成、地中障害、杭打ちなど工程毎に問題が次々と起きた。例えば掘削すると、新築時のガラや切り取った杭頭が埋まっていた。このような地中障害は、場所により状況が違い、杭打時にGL-4mの所から杭頭がでてきて撤去に苦労した。また、騒音・振動・粉塵のほか停電や断水など、生活に支障が出るトラブルも頻発した。打つべき手は打ち、注意を払って工事を進めてもトラブルが続き、住みながら行う工事の限界への挑戦だった。

工事が終わり、お住まいのみなさまが制震ブレースに安心し、勾配が緩く綺麗になったアプローチに喜び、このマンションに住むことを誇りに思うとの感想をうかがい、達成感を感じた。

今回の耐震改修を通じ、いくつかの課題を残した。特に1971年以前の帯筋の間隔が広いマンションは、専有部分に入っても柱を補強すべきで今後取り組みたい。反対にIs

0.6を満たさなければ助成が受けられず、耐震改修に踏み切れないマンションが多くある。東京都は段階的補強方法を認めているが、助成金など支援制度に反映した区は2つだけである。旧耐震基準で設計された建物の中でも、帯筋の間隔が広い第1世代のマンションこそ速やかな耐震改修が求められる。行政には、ピロティ補強など耐震化しやすいところから耐震改修を行う段階的補強を支援する制度を強く望む。

手探りで始めたこの計画を成し遂げられたのは、管理組合が強い意志を持ち、杉並区や住宅金融支援機構の支援を受けながら、施工会社や西荻チームが連携し協力した賜である。

建物概要	
所在地	: 杉並区西荻南
構造・規模	: 地下1階・地上9階 (3階までSRC造、4階以上RC造)
総戸数	: 56戸
竣工年	: 1970年 築後45年で制震改修
精密診断 : JASO第1次西荻チーム (建築担当 坪内、構造担当 福田・増田・田嶋)	
基本設計 : JASO第2次西荻チーム (建築担当 今井、近藤 構造担当 山田・田中)	
実施設計・工事監理 : JASO第3次西荻チーム (建築担当 今井、近藤 構造監修 山田)	
構造設計・施工 : 青木あすなる建設(株)	
補強概要	
外付けフレーム付制震ブレース補強(摩擦ダンパー)、構造スリット	

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
STEP1 アドバイザー派遣	★								
STEP2 耐震簡易診断									
STEP3 耐震精密診断		★							
STEP4 耐震基本設計	3月 杉並区			★	その1	★	その2		
STEP5 耐震実施設計	アドバイザー制度発足						★		
STEP6 耐震改修・大規模修繕工事								★	

凡例 ★通常総会

表1 耐震化年譜

活動報告

「JASO耐震アドバイザー資格規定」と「資格証」が出来ました 耐震化支援事業部長 河野進

2014年4月1日

JASO耐震アドバイザー資格規定

1. 職 務

JASO耐震アドバイザー(以下、「アドバイザー」と言う)は、JASOの理念に則り、建築物等の総合的な安全性について依頼者に対して助言、支援又は協力をを行う。そのためには資質の向上と自己研鑽に努める。また、アドバイザーは、建築、構造、設備の各専門分野を担当するとともに、相互の意思疎通を図り、一体的に業務を履行する。

2. 資格の要件

- (1) JASO会員であること。
- (2) 一級建築士、建築設備士、その他建築物等の耐震化を促進する上で有用とJASOが認定する資格を有すること。
- (3) 新たにアドバイザーとなる者は、JASOが実施する「アドバイザーの心得」講習を受講し、且つ耐震化支援事業部長が指名するアドバイザー指導員のもとで、2回以上のAD派遣に同行し、AD派遣報告書を提出する。
- (4) JASOが実施する講習を毎年2回以上受講するとともに、アドバイザーとして必要な知識の習得に努めること。
- (5) (4)において、耐震化支援事業部長は、当該指導員から単独派遣が可能な旨の報告を受けた場合で、その内容が妥当と認めるとき、または本規定が発効する以前より登録されているアドバイザーである者には、アドバイザー資格を付与する。

3. 心 得

- (1) 派遣の対象となる建築物の存する自治体の耐震化施策について充分に理解したうえで業務を行うこと。
- (2) JASO研修委員会が行う研修会等には積極的に出席し、情報収集や自己研鑽を怠らないこと。

4. 責 務

- (1) 業務履行にあたって、常に資格証を携行し、依頼者の求めに応じ資格証を提示しなければならない。
- (2) 業務を履行する上で問題が生じた場合は速やかに耐震化支援事業部長に報告し、対処方法を相談し検討の上、誠意ある対応を行う。
- (3) アドバイザー会議に積極的に参加し、耐震技術や法令改訂などの情報交換を行う。
- (4) 業務履行にあたって、JASOが定める「個人情報保護に関する諸規定」を遵守すること。

その他

- (1) 耐震化支援事業部長は、アドバイザーが上記の規定に著しく反した場合、一定期間、その資格を停止させることができる。

【資格証のサンプル】

	会員No. 009179
JASO耐震アドバイザー資格証	
一級建築士：構造設計一級建築士 白石 健次（構造担当）	
特定非営利活動法人 耐震総合安全機構 〒112-0013 東京都文京区音羽 1-20-16	
	
	

(裏面)

- ・この資格証は、身分を明らかにするためにアドバイザーとして業務履行する際に携行し、依頼者の求めに応じて提示しなければならない。
- ・アドバイザー会議及びJASO講習会に出席する。
- ・JASOが定める「個人情報保護に関する諸規定」を遵守する。
- ・この資格証は、他人に貸与または譲渡してはならない。
- ・この資格証を紛失または棄損したときは、すみやかに再交付を受けなければならない。
- ・この資格証は、アドバイザー資格を失ったときは直ちに発行者に返却しなければならない。

平成26年4月1日発行

JASOの会員数は、各自治体の耐震アドバイザー派遣要請とその延長としての耐震診断業務の拡大に伴い、正会員が概ね160名、その他会員が60名と、ここ数年で急増しています。会員のうち東京都の沿道事業と各区のアドバイザーに登録している会員は、重複を除くと100名程度です。

JASOはNPO法人であり、定款第3章会員第6条(種別)で「(1)正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人または法人」とあり、第7条(入会)2項で「・・・は6条(1)の条件に適合すると認めるときは、正当な理由がない限り入会を認めなければならない」となっています。

会員になるための門戸は広く開かれています。しかしながらアドバイザー派遣の件数が増えるに従い、委託先とのトラブルや、業務契約期限を遅延してしまう事例がいくつか発生しており、新人研修のシステム整備と全アドバイザーの資質の向上を図るための手立てが急がれることになりました。新人アドバイザーには一定の経験と研修を義務付ける一方、全ての耐震アドバイザーの自覚を促すための「資格規定」を設けることになりました。併せて委託者である行政や依頼者からの要求があれば常時提示できる携帯可能な「資格証」を作ることになりました。

「資格規定」には 資格の要件・心得・責務などが書かれています。「資格証」には氏名・会員番号・一級建築士等の公的資格のほかに顔写真が必要です。裏面にもJASO耐震アドバイザーとしての心得などが書かれています。今年6月から発効する予定ですので、耐震アドバイザーの方は、新人・ベテランを問わずご準備ください。

巨匠探訪

原田 光政 氏（後編）

～ 品質を管理することの大切さ ～

（前号から続き）

持ち前のパワフルさを発揮しながら順調に経験を重ね働き盛りの40代、モスクワオリンピックが開催された昭和55年に建築設計本部構造設計部技術長になった。さあこれからいよいよパワー全開という矢先の厄年に椎間板ヘルニアになってしまい、「品質管理」という後方部門を担当することになるのだが、このことが後の原田の人生に大きな影響を与えることになる。

設計の品質を保つにはどうすればよいのであろうか。TQC（Total Quality Control）と呼ばれる統合的品質管理を設計分野に適用し、体系化していくのであるが、ここで後に「チェックリストの鬼」と呼ばれるベースが培われることになる。標準化やマニュアル化も必要だが、大事なことは「現状把握」段階でのクレーム調査であり、問題発生時の情報をいかに多く集めるかである。その対策を基にチェックリストがブラッシュアップされていくのであるが、作り放しでは意味がなく、その効果を確認することが最も重要であるという。現在のISOでいうところのPlan（計画）Do（実行）Check（評価）Act（改善）を早くも実践していたことになるようだ。

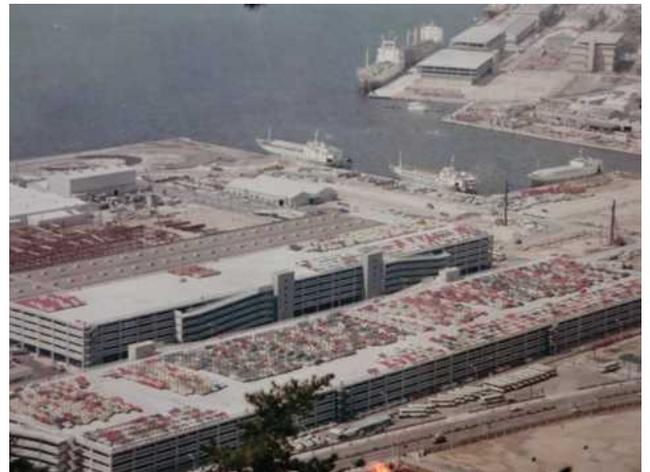
この時期にもう一つ学んだことが体調管理であった。「世の中は冷たい、自分の体はしっかり自分で守るしかない」、「技術者たる者、心身バランスよくリフレッシュできてないとよい仕事はできない」。

70歳も半ばを過ぎて今もなお、スポーツジム通いは欠かせない。マシン・スイム・バイク・ラン、一通りやるので軽く2～3時間は運動するそう、実に頭が下がる。

65歳で定年退職した後は、原田構造研究室を開設。五十殿侑弘氏と共にJASOに入った。現在は「一般社団法人港区建築設計事務所協会」の管理建築士としても忙しく、まだまだゆっくりできない。

JASO審査会の審査委員を務めているが、「人のものを見るには、まず自分が勉強しなければならない。だから、気が抜けない」簡易診断報告書は、審査会の前にチェックするのが慣わしだが、見るだけでも軽く2時間はかかり、修正意見を書き出して整理すると、結構な時間を要する仕事だ。

現在JASOで行っている耐震診断については、TQC的には少し心配だ。構造連絡会は品質を見るところではないし、会員各自が行う診断の品質管理をどこまで徹底すればよいか悩ましい。診断の考え方をレビューしたりする場面も必要になるであろう。時にNPO組織という性格が、原田のTQC魂を悩ませることもある。いずれは耐震診断の品質管理手法を確立しなければならないと思っているところだ。まだまだ、気が抜けない。



原田氏設計の代表作 瀬戸内海の埋め立て地に浮かぶ超巨大自動車輸出ドック。経年による不同沈下を嵩上げフローティングにより修正可能な要塞。第1棟（手前）鉄骨造4階建て（昭和46年）張間9m×8スパン、桁行9m×35スパン（EXP.J4棟）。第2棟（前方）鉄骨造5階建て（昭和47年）張間9m×6スパン、桁行9m×27スパン。（EXP.J3棟）



フローティング建物の嵩上げ作業状況

（広報委員：柳下雅孝）

.....お知らせ.....

耐震総合安全機構 定期総会 設立10周年記念式典・記念講演・祝賀会のお知らせ

今年、JASOは設立10周年を迎えます。

会員の皆様はぜひご出席ください。

日程：2013年6月6日(金)

会場：学士会館
千代田区神田錦町3-28

時間：定期総会：13:00~14:30

記念式典：15:00~16:00

記念講演：16:20~17:50

祝賀会：18:20~19:50

懇親会会場：学士会館 201号室

記念講演(仮題)

「迫り来る首都直下型地震と危機管理」
防災システム研究所 所長 山村 武彦様



JASO協力会からのお知らせ

法人会員・賛助会員の皆様。毎年5月～6月ごろに定期総会を開催しておりますが、今年は2014年1月22日に開催いたしました臨時総会を以て定期総会の代わりといたします。6月6日のJASO総会以降、来期の方針を決定する際に改めて会議を行う予定です。1月22日の臨時総会議事録はJASOホームページ内の会員ページにございますのでご一読ください。
(JASO協力会 事務局)

2014年 JASO AD行事スケジュール

5月	5/13	(火)	アドバイザー会議
	5/27	(火)	アドバイザー会議
6月	6/6	(金)	JASO定期総会・設立10周年記念式典(学士会館)
	6/10	(火)	アドバイザー会議
	6/24	(火)	アドバイザー会議
7月	7/8	(火)	アドバイザー会議
	7/22	(火)	アドバイザー会議

JASO-協力会からのお知らせ(広告)

コンクリート内部探査

- ★ 電磁波レーダー探査
- ★ エックス線探査
- ★ 鉄筋かぶり厚さの調査
- ★ コンクリート厚さの調査

耐震診断調査

- ★ コンクリート強度調査
- ★ 配筋調査(レーダー・研り)
- ★ 建物外観履歴調査
- ★ 不同沈下調査

Concrete See Through

コンクリートの中を見てみませんか?
◎多数の機種を取り揃えておりますのでT・P・Oに
応じて使い分けが可能です。

中央株式会社

〒182-0012 東京都調布市深大寺東町5-15-29

TEL 042-441-6755 FAX 042-441-6775

URL: www.chuo-web.co.jp